

株式会社coly 2026年1月期 決算説明会 質疑応答要旨

本要旨は、アナリスト・機関投資家向け決算説明会において出席者の皆様からいただいた主なご質問および当社の回答をまとめたものです。

記載にあたっては、理解促進の観点から一部加筆・修正を行っております。

Q1: ディズニーとの開発案件について、リリース予定に変更はないか。また、ユーザー向けの事前登録やティザー展開の開始時期はいつ頃を想定しているか。

A: ディズニー社との開発案件のスケジュールについては、開示のとおり、2027年1月期上半期想定から変更はありません。現在も同社と協議を行いながら、開発およびリリース準備を進めております。

事前登録の開始時期や具体的なプロモーション計画については、現時点ではお伝えできませんが、開示可能となった段階で速やかに公表いたします。

Q2: 2027年1月期は営業黒字を想定しているか。

A: 2026年1月期は、新規タイトル開発に係る先行投資により営業損失を計上しましたが、業績は改善傾向にあり、当期純利益は72百万円の黒字となりました。

2027年1月期については、既存タイトルの安定推移を見込んでいることに加え、複数タイトルのリリースを想定しており、リリース後は投資回収フェーズに入る見込みです。当社としては、営業黒字化を前提に、適切なプロモーションおよび運営を通じて収益最大化を図ってまいります。

Q3: 投資有価証券の取得および売却を行った背景について。

A: 将来的な収益機会の拡大および財務基盤の強化を目的として、余剰資金の一部を投資有価証券に振り向けたものです。今後も事業投資とのバランスを踏まえながら、適切な資産運用を行ってまいります。

Q4: ディズニーとの開発案件以外の未発表タイトル2件について、「2027年1月期目標」から「想定」へと表現が変更された背景、および直近の開発進捗はどのような状況か。

A: 未発表タイトル2作品については、社内の開発プロセスに基づいて鋭意開発を進めており、いずれも順調に進捗しております。2027年1月期中のリリースに向けて準備を進めており、開示可能な情報については適切なタイミングでお知らせいたします。

Q5: スマートフォンゲーム市場全体は競争が激しいと認識しているが、女性向けゲーム市場の競争環境について直近1年の状況認識を聞きたい。

A: 女性向けゲーム市場は海外発タイトルの参入などにより競争環境は一層激化していると認識しております。一方で女性ユーザー数は増加傾向にあり、市場規模は引き続き大きいものと考えております。

また、いわゆる「推し活」市場は、国内のみで4兆円に迫る規模とも言われており、当社としてはこれらの市場機会を踏まえ、これまで培ったノウハウを活かしたタイトル展開により成長を図ってまいります。

Q6: ディズニーとの開発案件について、社名開示のタイミングが2025年12月となった背景は何か。

A: 開示時期については、開発進捗や周辺状況等を踏まえ、ディズニー社との協議のうえ決定しております。今後も同社との連携のもと、適切な情報開示を行ってまいります。

Q7: 現在開発中の新規3タイトルのリリース後は、開発投資は減少する見通しと考えてよいか。

A: 今後の新規タイトルの企画状況にもよりますが、現時点では、3タイトルのリリース後は開発費は原則として減少方向となることを想定しております。

Q8: 既存タイトルの運営コストは四半期ごとに減少していくイメージか。

A: 運営コストは売上状況やタイトル特性により一概には申し上げられませんが、一般的な傾向として、運営期間の長期化に伴いコストは徐々に低減していくケースが多いと認識しております。

Q9: ディズニーとの開発タイトルの規模感について、現時点での想定はどの程度か。

A: 当社のノウハウを活かしたヒットタイトル創出を目指しております。規模としても、当社の開発タイトルの中では比較的大型の案件になることを想定しております。

以上